

事業所における自己評価総括表

令和6年度 相模原市立児童発達支援センターひだまり

事業所名	相模原市立児童発達支援センター（ひだまり）		
保護者による児童発達支援評価期間	令和7年1月日～令和7年1月日		
保護者評価回答数	対象者数	20家庭	回答数 19家庭 回答率 95%
職員による児童発達支援評価期間	令和7年1月日～令和7年1月日		
職員評価回答数	対象者数	23名	回答数 21名 回答率 91%
事業所自己評価作成日	令和7年3月11日		

○分析結果

	より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取り組み	さらに充実を図るための取り組み等
1	個別支援計画・支援の共有	保護者の願いをもとに本人の状態を担当者間で共有し、個別支援計画を作成、実施。	本人の思いに寄り添う支援計画の立案
2	保護者プログラム	親子ムーブメント、ぽかぽかタイム、座談会等、保護者同士がかかわりを持ちながら療育に関する情報を共有していけるように取り組んでいる。	保護者が必要とする情報についてタイムリーに発信できる体制

	課題や改善が必要だと思われること	課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫等
1	防災体制	安全計画や業務継続計画を作成しているが、防災体制に関して理解や準備が進んでいない。	計画をもとに訓練の実施や振り返りをして、実際に対応できる体制づくりを続ける。
2	情報提供	見学者や実習生等が入ることが保護者に共有できていなかった。（園だよりや懇談会等では伝えていた）	見学者や実習生が入る日にお知らせとして掲示するようにする。
3	施設に関すること	施設が古く、バリアフリーや個人のプライバシーを守る環境になっていない。	安全面、衛生面に関して安全チェックを実施し、修繕や衛生的な環境に気を配り、プライバシーを守れる配慮をする。